

【問題1】

国立青少年教育振興機構が受験生と同じ、高校生を対象に実施した「高校生の社会参加に関する意識調査報告書—日本・米国・中国・韓国の比較—」（令和3年6月）調査より調査結果を一部抜粋して出題したものである。

設問1

日本、米国、中国、韓国の4か国の高校生の学校内での社会参加の5つの状況に対する意識調査の結果で、図1～5の情報を正確に読み解く（読解力）問題である。

設問2

図のデータを参考に日本の高校生の学校内での社会参加に関する意識の特徴を分析し（分析力）、高校生の「社会参加」を通じた課題について、自分の意見を述べる（表現力）問題であり、思考力、統合力、論理性を問う問題である。

【問題2】

1. この問題は、異なる立場での主張を展開することを通して、論理的思考力、瞬時に物事を判断する力、的確に見解をまとめる力、批判的思考力、相反する立場において客観性をもって物事を思考する力、社会の動向への関心、について確認するよう設定した。
2. 異なる立場で意見を主張するにはテーマについての理解が不可欠である。
3. 異なる立場の意見に疑問を抱くには、思考力が欠かせない。
4. 最後に求める“あなたの考え”では、理解力、統合力、思考力、独創性、論理性をもって論ずる力が求められる。